

共同研究プロジェクト

「日・中・英の諺による異文化の比較研究」

活動報告

陸 君・永野 貴子

本プロジェクトでは、グローバリゼーションの現代社会における人間関係を円滑に進めるため、日本語・中国語・英語におけることわざを比較し、それぞれの文化における考え方や知恵を理解し、互いに尊敬しあいうまく付き合っていくことができる方策のひとつを探る研究をその目的としているものである。

2年目にあたる本年度は、(1)日本語と中国語、英語と日本語、中国語と英語の諺を3つの角度から、文化関係、思想関係、生活知恵関係の分野からデータを集め、その社会背景や文化影響を視野にも入れ、相異の比較研究を行った。

(2) 三ヶ国語でことわざの比較研究を効果的に行うため、日本語の学者兼専門家講師を招きシンポジウムを実施した。

(3) 研究論文執筆の準備を行った。

第二回研究会

(テ ー マ) 「ことわざ研究の諸問題」

(講 演) 秋本 守英
龍谷大学名誉教授・文学博士

(日 時) 2010年7月14日
18:00-19:30

(場 所) 京都文教大学
普照館3階305教室

(参 加 数) 40名

研究アンケートの結果分析とまとめ

(テ ー マ) 「日常生活におけることわざの活用」2009年12月に実施したアンケート

(日 時) 2009年12月初旬～中旬

(対象人数) 1年生から4年生まで計296名学生の属性を10種類にわけ、諺に関する認知及び活用についての解答をデータ化し、更に詳細に分析を行い、結果を論文の一部として報告する予定である。